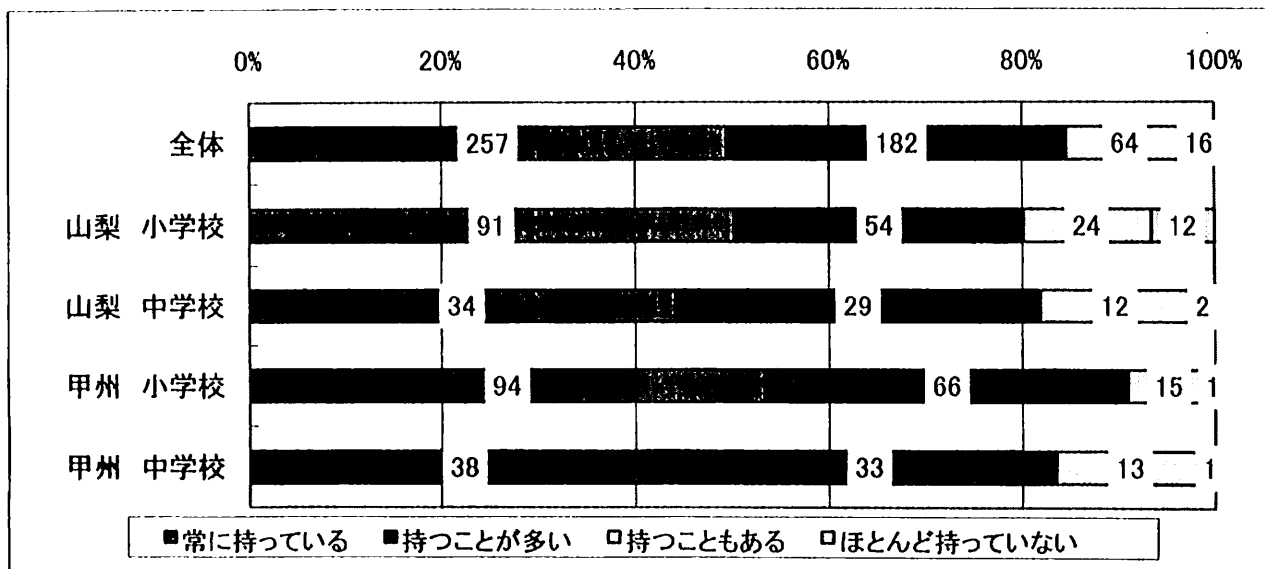


6 多忙感に関する調査結果

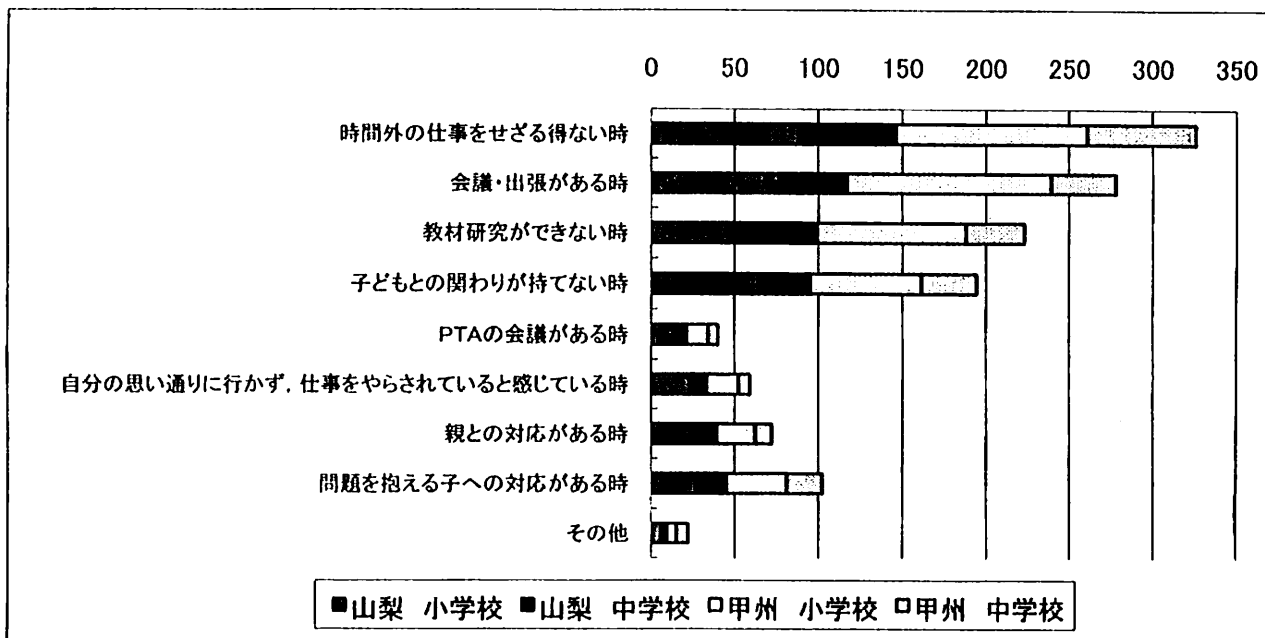
調査年月 2012年12月
 調査対象 東山梨全教職員
 回答数 519人

1) 勤務の中に多忙感を持っていますか。(1つのみで回答)



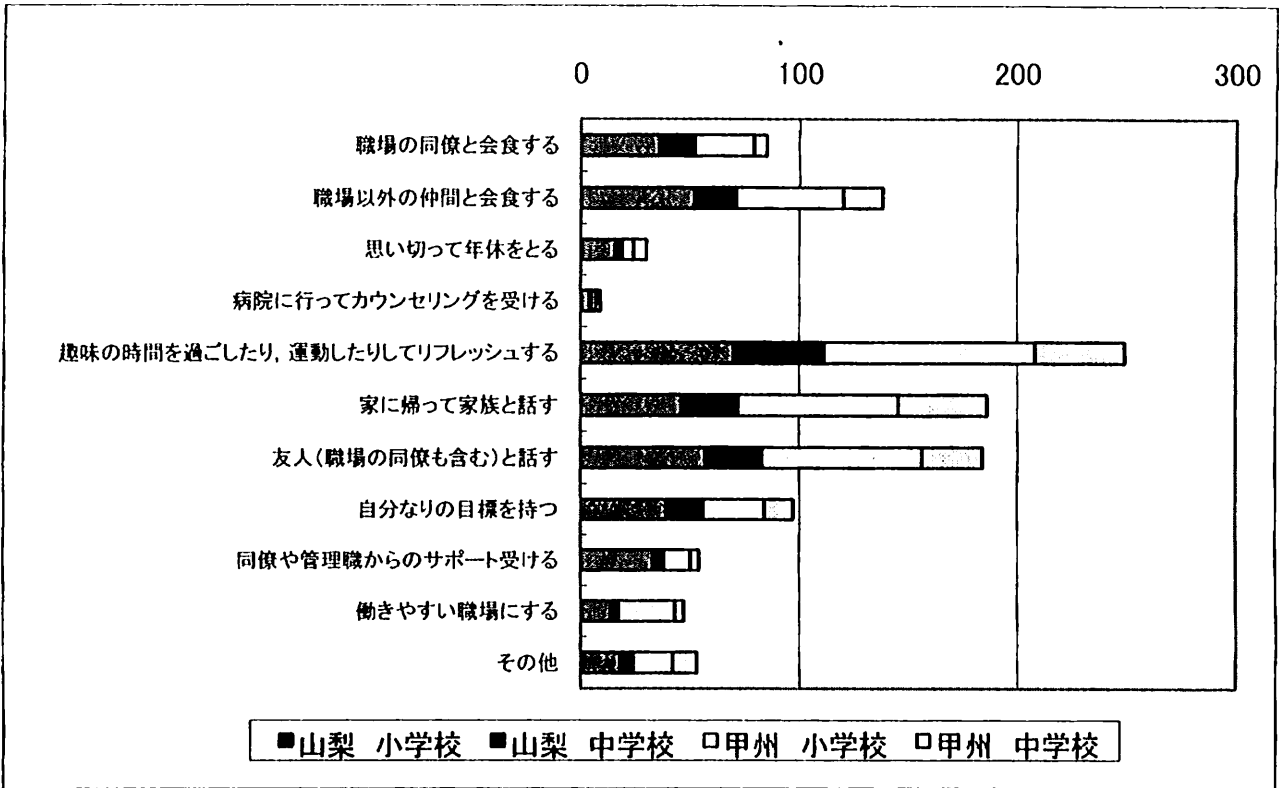
・ 8割を超える教職員が多忙感を感じている。また、ほとんど持っていない人は少ない。

2) 多忙感を持つ時は主にどんな時ですか。(回答数自由)



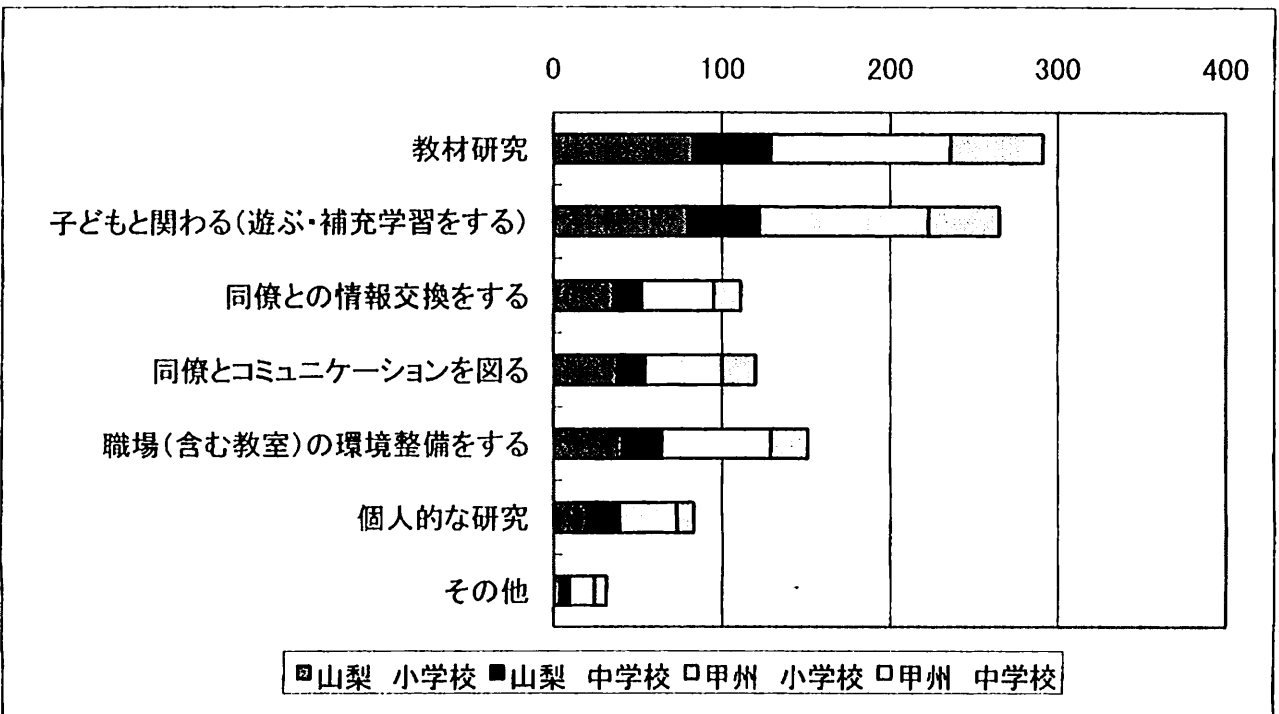
・ 時間外の仕事や会議、出張がある時に多忙感を持つ割合が高い。

3) あなたの多忙感を解消する方法は何ですか。(回答数自由)



・趣味の時間を過ごしたり、運動でリフレッシュする教職員が一番多い。

4) 多忙感が解消されたら、その分充実させたいことは何ですか。(回答数自由)



・教材研究や子どもと関わる時間を充実させたい教職員が多い。

※その他の項目（記述欄の設けてあった項目についての回答）

2) 多忙感を持つときは主にどんな時ですか。

- ・様々な仕事が重なったとき。
- ・一度に何種類もの仕事をしなければならないとき。
- ・各種書類作成。県など対外的な所からのアンケートなどの提出があるとき雑用感がある。
- ・休めるときが年々少なくなっている。
- ・自分の仕事をしているときに電話がよくかかってきたり、計算しているときに声をかけられたりといつも感じる。
- ・期限のある仕事が重なる時。特に3, 4, 10~11月。たとえば、10~11月は、予算案に説明の提案準備、提案~提出、旅費請求（これは、毎月15日までだが、）共済組合被扶養者確認書類とりまとめ、年末調整（書類説明の入力）等々。必要かなと疑問に思う。行事等があるとき。
- ・休み時間や空き時間がないとき。
- ・対外的な対応が複数重なったとき。
- ・初めて担当する分掌が多いこと。
- ・急な調査、回答をもとめられるとき。
- ・行政職なので…、提出期日が重なる処理に追われるとき。

3) あなたはどのようにして多忙感を解消していますか。

- ・そういうものだと自分に言い聞かせている。
- ・多忙感を解消する方法は特にない。
- ・休日出勤などで仕事を片付ける（時間外勤務）。
- ・優先順位を決めて1つずつ仕事を終わらせる。
- ・仕方がないとあきらめる。働けるだけ幸せと思う。
- ・仕事が減らないと多忙ではなくならない。または仕事の手を抜くことになる。
- ・年休をとる。
- ・休憩できる時間を有意義に過ごす。
- ・自分の時間を少しでももつ。
- ・残業して仕事を済ますしかない。
- ・仕事をかたづけていくしかない。
- ・睡眠時間を多くとるように努める。
- ・そのときにできる自分の時間をたとえ5分でもとる。
- ・体を休めるしか解消方法はない。

4) 多忙感を解消されたら、その分充実させたいことは何ですか。

- ・趣味、余暇、会食、家事、健康管理。
- ・休養をとる。体を休める。
- ・家族との時間を増やす。
- ・家族のために時間を費やす。
- ・家庭を大切にす。
- ・年休をとる。
- ・有給をとってのんびりしたい。
- ・自由な時間をとる。
- ・自分の納得できるような仕事をしたい。
- ・仕事以外のこと。力を入れていることに取り組む。個人の趣味。
- ・そのときにしなければならない自分の中での優先順位にそってする。
- ・他校との交流。
- ・プライベートを充実させる。

〈その他〉

- ・多分、解消されることはないので期待していません。
- ・多忙を感じているのではなく多忙です。
- ・多忙感があってもなくてもやることは同じ。